

Z会の夏休みドリル

3年生

答えと

考え方

問題^{もん だい}をと^おき終わったら、すぐに○つけをしましょう。
間^まちがえた問題は、ふく^{しゅう}習しましょう。

算数 …… 2

理科 …… 16

社会 …… 18

英語 …… 20

しあげテスト …… 21

国語の答えは^{はんたい}反対が^{はじ}わから始^{はじ}まります。

1 2年生のふくしゅう(1)

② 2ページ

答え

※1の筆算は「考え方」を見てください。

1 (1)118 (2)151 (3)106

(4)71 (5)77 (6)78

2 (1)午前8時20分 (2)午後4時45分

3 3204まい

考え方

1 同じ位くらどうしをたして、10になったら上の位に1くり上げます。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 73 \\ + 45 \\ \hline 118 \end{array} \quad (2) \quad \begin{array}{r} 1 \\ 64 \\ + 87 \\ \hline 151 \end{array} \quad (3) \quad \begin{array}{r} 1 \\ 57 \\ + 49 \\ \hline 106 \end{array}$$

$$(4) \quad \begin{array}{r} \cancel{3}2 \\ - 61 \\ \hline 71 \end{array} \quad (5) \quad \begin{array}{r} 4 \\ \cancel{5}6 \\ - 79 \\ \hline 77 \end{array} \quad (6) \quad \begin{array}{r} 9 \\ \cancel{0}5 \\ - 27 \\ \hline 78 \end{array}$$

2 正午よりも前を午前、正午よりも後を午後といいます。

(1) 短いみじかはりが8と9の間なので、8時。
長いはりが4をさしているの、20分。
「朝」なので、午前8時20分です。

(2) 短いはりが4と5の間なので、4時。
長いはりが9をさしているの、45分。
「夕方」なので、午後4時45分です。

3 たばがそれぞれいくつつあるかを考えます。

1000のたばが3たばと、
100のたばが2たばと、
ばらが4まいあるので、
3204まいです。

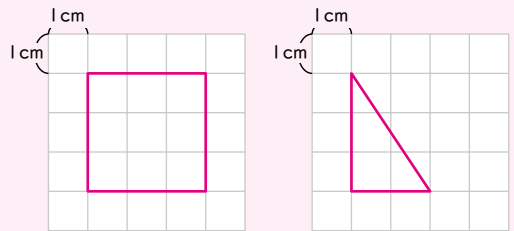
2 2年生のふくしゅう(2)

③ 3ページ

答え

1 (1)79 (2)211 (3)105

2 (1)[れい] (2)[れい]



(実際の図より小さくなっています。)

3 (1)[式] $6 \times 7 = 42$ [答え] 42本

(2)[式] $42 - 38 = 4$ [答え] 4本

考え方

1 1cm=10mm、1m=100cmです。

(1) 1cm=10mmだから、7cm=70mmです。
だから、7cm9mm=79mmです。

(2) 1m=100cmだから、2m=200cmです。
だから、2m11cm=211cmです。

(3) 1m=100cmだから、1m5cm=105cm
です。

2 (1)は、4つのかどがみんな直角になるように、(2)は、1つのかどが直角になるように、
方眼紙の線にそって辺をかきます。

3 (1) 1箱はこに入っているアイスアイスの数×箱はこの数
=全部ぜんぶのアイスアイスの数

でもとめられるので、全部のアイスアイスの数は、
 $6 \times 7 = 42$ (本)

(2) 38人が1人1本ずつアイスを食べると、
のこりは、

$42 - 38 = 4$ (本)

3 かけ算(1)

④ 4ページ

答え

- 1 (1)①5 (2)30 (3)18 (4)48
 (2)⑤4 (3)⑥3 (4)⑦8
- 2 ①2 ②5 ③30 ④6 ⑤18
 ⑥2 ⑦12 ⑧30

考え方

1 かけ算では、かけられる数やかける数を分けて計算しても、答えは同じです。

(1) 8は5と3に分けることができます。

$$8 \times 6 = (5 \times 6) + (3 \times 6)$$

$$5 \times 6 = 30, 3 \times 6 = 18$$

だから、合わせて48です。

(2) 10は6と4に分けることができます。

$$4 \times 10 = (4 \times 6) + (4 \times 4)$$

(3) $(4 \times 3) + (4 \times 6) = 4 \times 9$

$$4 \times 9 = 4 \times (3 + 6)$$

(4) かけられる数を分けると、2と6になるから、 $2 + 6 = 8$

$$(2 \times 7) + (6 \times 7) = 8 \times 7$$

2 りくとさんは1ふくろに入っている金魚の数をさいしょに考えています。

1ふくろに入っている赤い金魚と黒い金魚は合わせて、

$$3 + 2 = 5 \text{ (ひき)}$$

だから、金魚全部ぜんぶの数は、

$$5 \times 6 = 30 \text{ (ぴき)}$$

まなみさんは赤い金魚と黒い金魚それぞれで、何びきずつが何ふくろあるかを考えています。

赤い金魚全部の数は、

$$3 \times 6 = 18 \text{ (ひき)}$$

黒い金魚全部の数は、

$$2 \times 6 = 12 \text{ (ひき)}$$

だから、金魚全部の数は、

$$18 + 12 = 30 \text{ (ぴき)}$$

4 かけ算(2)

⑤ 5ページ

答え

- 1 (1)0 (2)0 (3)80
 (4)420 (5)3200 (6)21000
- 2 ^{しき}【式】 $20 \times 4 = 80$ 【答え】 80ページ
- 3 ^{しき}【式】 $300 \times 6 = 1800$ 【答え】 1800円

考え方

1 (1)・(2) 0のかけ算では、どんな数に0をかけても、0にどんな数をかけても答えは0になることがポイントです。

$$(1) 6 \times 0 = 0$$

$$(2) 0 \times 0 = 0$$

(3)~(6) 10や100、1000のかたまりが何こあるかを考えます。

(3) 40×2 は、10のかたまりが (4×2) こです。だから、10が8こで80です。

(4) $6 \times 70 = 70 \times 6$ 70×6 は、10のかたまりが (7×6) こです。だから、10が42こで420です。

(5) 800×4 は、100のかたまりが (8×4) こです。だから、100が32こで3200です。

(6) 3000×7 は、1000のかたまりが (3×7) こです。だから、1000が21こで21000です。

2 1日に読んだページ数×読んだ日の数 = 全部ぜんぶのページ数でもとめられるので、式は、 20×4 。 20×4 は、10のかたまりが (2×4) こです。だから、10が8こで80です。したがって、読んだページ数は全部で、
 $20 \times 4 = 80$ (ページ)

3 ^{ごおり}かき氷1つのねだん×^{だいきん}かき氷の数 = 代金でもとめられるので、式は、 300×6 。 300×6 は、100のかたまりが (3×6) こです。だから、100が18こで1800です。したがって、代金は全部で、
 $300 \times 6 = 1800$ (円)

5 かけ算 (3)

⑥ 6ページ

答え

1 (1)①2 (2)②2 (3)③2

(4)④6 (5)⑤4

2 (1)①40 (2)②6 (3)③24 (4)④64

(2)①17

考え方

1 かけ算では、計算するじゅんじょをかえても、答えは同じです。

$$(1) 2 \times 9 = 18$$

$$9 \times 2 = 18$$

だから、

$$2 \times 9 = 9 \times 2$$

$$(2) 4 \times 3 \times 2 = 4 \times 2 \times 3$$

$$(3) (3 \times 2) \times 5 = 3 \times (2 \times 5)$$

(4) () の中を先に計算します。

$$2 \times (2 \times 3) = 2 \times 6$$

$$(2 \times 2) \times 3 = 4 \times 3$$



かけ算では、前の2つからじゅんにかけても、後の2つから先にかけても、答えは同じだよ。

2 かけられる数を「10と一の位の数」に分けて計算します。

(1) 16は、10と6に分けられるから

$$16 \times 4 = (10 \times 4) + (6 \times 4)$$

$$40 + 24 = 64$$

(2) 13は、10と3に分けられるから

$$13 \times 9 = (10 \times 9) + (3 \times 9)$$

$$90 + 27 = 117$$

6 たし算とひき算 (1)

⑦ 7ページ

答え

1 (1) $\begin{array}{r} 128 \\ + 463 \\ \hline 591 \end{array}$ (2) $\begin{array}{r} 982 \\ + 19 \\ \hline 1001 \end{array}$

(3) $\begin{array}{r} 361 \\ - 268 \\ \hline 93 \end{array}$ (4) $\begin{array}{r} 701 \\ - 362 \\ \hline 339 \end{array}$

2 [式] $843 - 452 = 391$

[答え] 391人

3 [式] $517 + 191 = 708$

$$708 + 78 = 786$$

[答え] 786人

考え方

1 くり上がりやくり下がりのまちがいがいかを考えましょう。

(1) 一の位は $8+3=11$ 、十の位は $1+2+6=9$ なので、十の位にくり上がった1をたすのを、わすれています。

(2) 位がそろっていないので、位をたてにそろえてから計算します。

(3) 一の位に1くり下げたので、十の位の計算は、百の位から1くり下げて、 $15-6=9$ となります。

(4) 百の位から十の位に1くり下げ、十の位から一の位に1くり下げます。十の位の計算は、 $9-6=3$ となります。

2 遊園地で遊んでいた人の数 - 帰った人の数 = のこっている人の数でもとめられるので、のこっている人の数は、

$$843 - 452 = 391 \text{ (人)}$$

3 北町の夏祭りに来た人は、東町の夏祭りに来た人より191人多いので、

$$517 + 191 = 708 \text{ (人)}$$

南町の夏祭りに来た人は、北町の夏祭りに来た人より78人多いので、

$$708 + 78 = 786 \text{ (人)}$$

7 かくれている数字をあてよう

⑨ 8ページ

答え

- 1 (1) ...3、...8、...1
 (2) ...7、...4、...5
 (3) ...8、...4、...6
 (4) ...3、...1、...6

考え方

1 (1) 一の位の計算で $4 + \triangle = 17$ となることはないので、 $4 + \triangle = 7$ で、 \triangle は3です。百の位の計算で千の位にくり上がるので、 は1です。十の位の計算で、1から9の2つの数をたして1になることはないので、 $\triangle + \cup = 11$ と考えると、 $3 + \cup = 11$ だから、 \cup は8です。

(2) 一の位の計算で、 $10 - \cup = 6$ だから、 \cup は4です。十の位の計算は、 $10 - 1 - (\cup) = \cup$ だから、 $10 - 1 - (\cup) = 4$ で、 (\cup) は5です。百の位の計算は、 $10 - 1 - \cup = (\cup)$ で、 $10 - 1 - 4 = 5$ となるから、千の位から1くり下げているので、 \triangle は7です。

(3) 千の位の計算で、 \cup は8、9にはならないことがわかり、十の位の計算にくり上がりがながいことがわかるので、百の位の計算より $5 + 1 = \cup$ で、 \cup は6です。千の位の計算で、 $2 + \cup = 6$ だから、 \cup は4です。千の位の計算と十の位の計算をくらべると、一の位にくり上がりがあることがわかるので、 $\cup + \cup = 16$ だから、 \cup は8です。

(4) 一の位の計算は、 $\textcircled{7} \cup + \cup = 2$ か、 $\textcircled{1} \cup + \cup = 12$ のどちらかになります。もし $\textcircled{1}$ だとすると、 \cup にあてはまる数がないので、 $\textcircled{7}$ になり、 \cup は1とわかります。このとき、 \cup と \cup はちがう数なので、 $\cup + \cup = 12$ となり、 \cup は6です。

百の位の計算で、 $1 + 1 + 4 = 6$ となり、くり上がりはないので、千の位の計算で、 $\cup + \cup = 6$ だから、 \cup は3になります。

8 たし算とひき算 (2)

⑩ 9ページ

答え

※1の筆算は「考え方」を見てください。

- 1 (1) 6386 (2) 8190 (3) 6009
 (4) 1373 (5) 566 (6) 5725

2 (1) [式] $4125 + 5790 = 9915$

[答え] 9915発

(2) [式] $5790 - 4125 = 1665$

[答え] 今日 (の花火大会のほうが) 1665 (発多い。)

考え方

1 くり上がりやくり下がりに注意して、一の位からじゅんに計算します。

$$(1) \begin{array}{r} 2634 \\ + 3752 \\ \hline 6386 \end{array} \quad (2) \begin{array}{r} 6481 \\ + 1709 \\ \hline 8190 \end{array}$$

$$(3) \begin{array}{r} 5848 \\ + 161 \\ \hline 6009 \end{array} \quad (4) \begin{array}{r} 3897 \\ - 2524 \\ \hline 1373 \end{array}$$

$$(5) \begin{array}{r} 67 \\ \cancel{7}1\cancel{8}2 \\ - 6616 \\ \hline 566 \end{array} \quad (6) \begin{array}{r} 99 \\ 5\cancel{0}\cancel{0}0 \\ \cancel{6}\cancel{0}\cancel{0}0 \\ - 275 \\ \hline 5725 \end{array}$$

2 (2)では、どちらが多いかを考えて、多いほうから少ないほうをひきます。

(1) 昨日の花火大会で打ち上げた花火の数と今日の花火大会で打ち上げた花火の数をたします。

$$4125 + 5790 = 9915 \text{ (発)}$$

(2) 今日の花火大会で打ち上げた花火のほうが多いので、

$$5790 - 4125 = 1665$$

だから、今日の花火大会のほうが1665発多いです。

9 たし算とひき算 (3)

⑩ 10ページ

答え

1 (1)81 (2)90 (3)39 (4)16

2 $\overset{\text{しき}}{[式]} 8732 - 2037 = 6695$

[答え] 6695

考え方

1 たす数やひく数を「十と一の位の^{くらい}数」に分けて計算します。

(1) 46を40と6に分けてたします。

$$35 + 40 = 75$$

$$75 + 6 = 81$$

(2) 77を70と7に分けてたします。

$$13 + 70 = 83$$

$$83 + 7 = 90$$

(3) 29を20と9に分けてひきます。

$$68 - 20 = 48$$

$$48 - 9 = 39$$

(4) 54を50と4に分けてひきます。

$$70 - 50 = 20$$

$$20 - 4 = 16$$



^{かんざん}暗算では自分のやりやすいしかたで計算してもいいよ。

2 0、2、3、7、8の数字が書かれたカードのうち、4まいをえらんで4けたの数をつくると、

いちばん大きい4けたの数…8732

いちばん小さい4けたの数…2037

になります。

だから、いちばん大きい数からいちばん小さい数をひくと、

$$8732 - 2037 = 6695$$



いちばん小さい数の千の位は、0でないから、2になるね。

10 わり算 (1)

⑪ 11ページ

答え

1 (1)8 (のだん)、2

(2)4 (のだん)、6

(3)6 (のだん)、5

(4)9 (のだん)、7

2 $\overset{\text{しき}}{[式]} 42 \div 6 = 7$

[答え] 7人

考え方

1 わり算の答えは、わる数のだんの九九を^{つか}使って見つけることができます。

(1) わる数が8だから、8のだんの九九を使います。

「八二16」で、答えは2です。

$$16 \div 8 = 2$$

(2) 「四六24」で、答えは6です。

$$24 \div 4 = 6$$

(3) 「六五30」で、答えは5です。

$$30 \div 6 = 5$$

(4) 「九七63」で、答えは7です。

$$63 \div 9 = 7$$

2 人数は、^{ぜんぶ}全部の数 ÷ 1人分の数でもとめられます。

42 ÷ 6の答えは、 $6 \times \square = 42$ の□にあてはまる数だから、6のだんの九九で見つめます。

「六七42」で、 $6 \times \boxed{7} = 42$

したがって、もとめる人数は、

$$42 \div 6 = 7 \text{ (人)}$$

11 わり算(2)

② 12ページ

答え

- 1 (1) [式] $24 \div 8 = 3$ [答え] 3人
 (2) [式] $24 \div 6 = 4$ [答え] 4つ
- 2 [式] $27 \div 3 = 9$ $6 + 9 = 15$
 [答え] 15まい

考え方

- 1 (1) 1つのはんの人数は、
 全員の人数 \div はんの数でもとめられます。
 $24 \div 8$ の答えは、 $\square \times 8 = 24$ の \square にあてはまる数だから、8のだんの九九で見つけます。
 「三八24」で、 $8 \times 3 = 24$ だから、
 $\square \times 8 = 24$
 したがって、1つのはんの人数は、
 $24 \div 8 = 3$ (人)
- (2) はんの数は、
 全員の人数 \div 1つのはんの人数でもとめられます。
 $24 \div 6$ の答えは、
 $6 \times \square = 24$ の \square にあてはまる数だから、6のだんの九九で見つけます。
 「六四24」で、 $6 \times \square = 24$
 したがって、はんの数は、
 $24 \div 6 = 4$ (つ)
- 2 お父さんからもらったクッキーを3人で分けたときの1人分の数は、
 全部の数 \div 人数でもとめられます。
 $27 \div 3$ の答えは、
 $\square \times 3 = 27$ の \square にあてはまる数だから、3のだんの九九で見つけます。
 「三九27」で、 $3 \times 9 = 27$ だから、
 $\square \times 3 = 27$
 したがって、1人分の数は、
 $27 \div 3 = 9$ (まい)
 ひろこさんは、はじめに6まい持っていたから、 $6 + 9 = 15$ (まい)

12 わり算(3)

② 13ページ

答え

- 1 (1) 1 (2) 0 (3) 1 (4) 0
 (5) 5 (6) 8 (7) 1 (8) 0
- 2 [式] $42 \div 7 = 6$ [答え] 6倍

考え方

- 1 何のだんの九九を使えばよいか考えます。
 (1) $3 \div 3$ の答えは、 $3 \times \square = 3$ の \square にあてはまる数です。3のだんの九九を使って、「三一が3」だから、答えは1です。
 (2) $0 \div 3$ の答えは、 $3 \times \square = 0$ の \square にあてはまる数です。どんな数に0をかけても答えは0になるので、 \square は0になります。
 (3) わる数の7のだんの九九を使って、「七一が7」だから、答えは1です。
 (4) $2 \times \square = 0$ の \square にあてはまる数は0です。
 (5) わる数の1のだんの九九を使って、「一五が5」だから、答えは5です。
 (6) わる数の1のだんの九九を使って、「一八が8」だから、答えは8です。
 (7) わる数の1のだんの九九を使って、「一一が1」だから、答えは1です。
 (8) $4 \times \square = 0$ の \square にあてはまる数は0です。
- 2 りんごジュースのかさが、オレンジジュースのかさの \square 倍とすると、
 $7 \times \square = 42$
 \square をもとめる式は、わり算を使って、 $42 \div 7$ と書くことができます。
 7のだんの九九を使って「七六42」だから、 \square にあてはまる数は6です。
 $42 \div 7 = 6$ で、6倍です。

13 わり算 (4)

① 14ページ

答え

1 (1)20 (2)10 (3)40 (4)12

2 [式] $18 \div 2 = 9$ $14 + 9 = 23$
 $17 + 9 = 26$

[答え] たかしさん…23まい、
 まりこさん…26まい

考え方

1 10のたばがいくつあるかで考えます。

(1) 60は、10のたばが6たばあるので、
 $6 \div 3 = 2$

10のたばが2たばだから、20です。
 したがって、 $60 \div 3 = 20$

(2) 90は、10のたばが9たばあるので、
 $9 \div 9 = 1$

10のたばが1たばだから、10です。
 したがって、 $90 \div 9 = 10$

(3) 80は、10のたばが8たばあるので、
 $8 \div 2 = 4$

10のたばが4たばあるので、40です。
 したがって、 $80 \div 2 = 40$

(4) 24を20と4に分けて考えます。

$$20 \div 2 = 10$$

$$4 \div 2 = 2$$

合わせて 12

だから、 $24 \div 2 = 12$

2 18まいの色紙を2人で同じ数ずつ分けたので、1人分もらう色紙の数は、

$$18 \div 2 = 9 \text{ (まい)}$$

たかしさんは、14まいの色紙を持っていたので、 $14 + 9 = 23$ (まい)

まりこさんは、17まいの色紙を持っていたので、 $17 + 9 = 26$ (まい)

14 決まりを見つけて数を答えよう

① 15ページ

答え

1 (1)9 (2)34 (3)8、22

考え方

1 $24 \rightarrow 3$ 、 $32 \rightarrow 4$ より、

右の数は、左の数を8でわった数であるとわかります。

$0 \div 8 = 0$ なので、 $0 \rightarrow 0$

も、右の数は、左の数を8でわった数になっています。「わくわくボックス」の決まりは、「左の数を8でわった数にする」です。

また、 $2 \rightarrow 4$ 、 $4 \rightarrow 10$ 、

$10 \rightarrow 28$ では、右の数は左の数の3

倍より2小さい数になっています。「ドキドキボックス」の決まりは、「左の数の3倍より2小さい数にする」です。

$48 \rightarrow 6$ 、 $6 \rightarrow 16$ では、48

を8でわった数が6、6を3倍した数より2小さい数は16になっています。

(1) 「わくわくボックス」の決まりを使います。「72を8でわった数にする」ので、 $72 \div 8 = 9$ だから、9です。

(2) 「ドキドキボックス」の決まりを使います。「12の3倍より2小さい数にする」ので、 $12 \times 3 = 36$ 、 $36 - 2 = 34$ だから、34です。

(3) 始めに、「わくわくボックス」の決まりを使います。「64を8でわった数にする」ので、 $64 \div 8 = 8$ だから、はじめの□は8です。

次に、「ドキドキボックス」の決まりを使います。「8の3倍より2小さい数にする」ので、 $8 \times 3 = 24$ 、 $24 - 2 = 22$ だから、22です。

15 あまりのあるわり算(1)

② 16ページ

答え

1 (1)7あまり2

(たしかめ) $5 \times 7 + 2 = 37$

(2)6あまり1

(たしかめ) $2 \times 6 + 1 = 13$

(3)5あまり4

(たしかめ) $9 \times 5 + 4 = 49$

(4)8あまり7

(たしかめ) $8 \times 8 + 7 = 71$

2 [式] $42 \div 8 = 5$ あまり2

[答え] (1人分は) 5 (つぶになって、)

2 (つぶあまる。)

考え方

1 あまりがわる数より小さいかどうかもたしかめておきます。

(1)「五七35」2あまる。

$37 \div 5 = 7$ あまり2

↓ ↓ ↓

(たしかめ) $5 \times 7 + 2 = 37$

(2)「二六12」1あまる。

$13 \div 2 = 6$ あまり1

↓ ↓ ↓

(たしかめ) $2 \times 6 + 1 = 13$

(3)「九五45」4あまる。

$49 \div 9 = 5$ あまり4

↓ ↓ ↓

(たしかめ) $9 \times 5 + 4 = 49$

(4)「八八64」7あまる。

$71 \div 8 = 8$ あまり7

↓ ↓ ↓

(たしかめ) $8 \times 8 + 7 = 71$

2 42を同じ数ずつ分けるので、

$42 \div 8 = 5$ あまり2

だから、1人分は5つぶになって、2つぶあまります。

16 あまりのあるわり算(2)

② 17ページ

答え

1 (1)2あまり1 (2)3あまり3

(3)5あまり3 (4)8あまり3

2 [式] $41 \div 6 = 6$ あまり5

[答え] 6ふくろ

3 [式] $32 \div 5 = 6$ あまり2

$6 + 1 = 7$

[答え] 7日

考え方

1 あまりのあるわり算の答えを見つけるときは、わる数のだんの九九つかを使います。

(1)「三二が6」2だと1あまる。

「三三が9」3だと7をこえる。

(2)「四三12」3だと3あまる。

「四四16」4だと15をこえる。

(3)「六五30」5だと3あまる。

「六六36」6だと33をこえる。

(4)「七八56」8だと3あまる。

「七九63」9だと59をこえる。

2 41を6ずつ分けるので、

$41 \div 6 = 6$ あまり5

だから、6こ入りのふくろは6ふくろです。



$6 \times 6 + 5$ を計算すれば

たしかめができるね。

3 32を5ずつ分けるので、

$32 \div 5 = 6$ あまり2

のこった2問の問題をとくのもう1日かかります。だから、けんたさんが算数の問題をとくのにかかるのは、全部で、

$6 + 1 = 7$ (日)

17 時ごとと時間 (1)

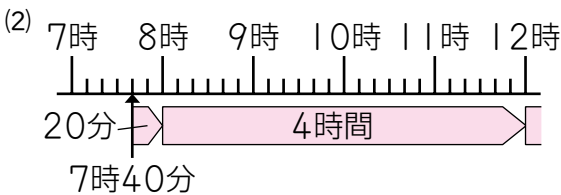
① 18ページ

答え

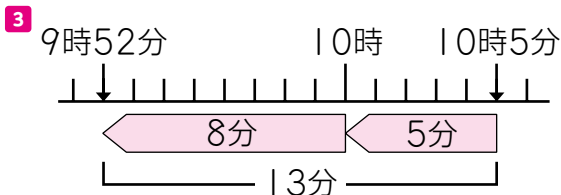
- 1 (1)秒 (2)時間 (3)分
 2 (1)㊸午前7時40分 ㊹午後5時
 (2)9時間20分
 3 午前9時52分

考え方

- 1 「1時間」、「1分」、「1秒^{びょう}」がそれぞれどれくらいの長さかを考えます。
 (1) 35分では長すぎるので、「秒」を入れます。
 (2) 9分では短^{みじか}すぎるので、「時間」を入れます。
 (3) 25時間では長すぎて、25秒では短すぎるので、「分」を入れます。
 2 時ごとや時間の計算は、「ちょうど何時^{くき}」で区切って考えます。
 (1)㊸ 短いほうが7と8の間なので、7時。長いほうが8をさしているのが40分。「朝」なので、午前7時40分です。
 ㊹ 短いほうが5をさしているのが、5時。「夕方」なので、午後5時です。



午前7時40分から正午までが4時間20分。
 正午から午後5時までが5時間。
 合わせて9時間20分です。



午前10時5分から5分前が午前10時。
 $13 - 5 = 8$ だから、もとめる時ごきは、午前10時から8分前の午前9時52分になります。

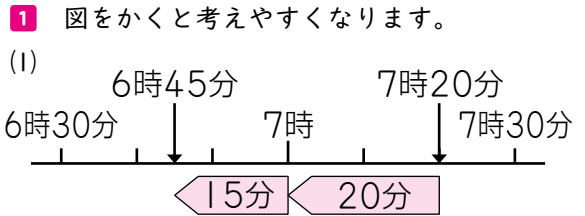
18 時ごとと時間 (2)

① 19ページ

答え

- 1 (1)午後6時45分 (2)午後1時45分
 (3)3時間25分
 2 (1)はるか (さん) (2)18秒

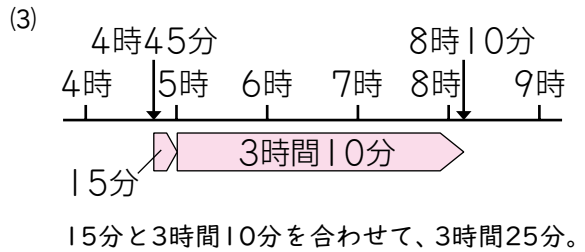
考え方



午後7時20分から20分前が午後7時。

$35 - 20 = 15$ だから、もとめる時ごきは、午後7時から15分前の午後6時45分になります。

- (2) 午前9時35分から4時間後は午後1時35分。
 さらにその10分後だから、午後1時45分。



- 2 ^{びょう}秒にそろえて、くらべます。

(1) たかしさん…2分6秒 = 126秒

ゆきさん…1分59秒 = 119秒

108秒と126秒と119秒をくらべると、いちばん速^{はや}かったのは、108秒のはるかさんです。

(2) (1)より、いちばん速かったのは、はるかさんの108秒、いちばんおそかったのは、たかしさんの126秒なので、ちがいは、

$$126 - 108 = 18 \text{ (秒)}$$

19円と球(1)

20ページ

答え

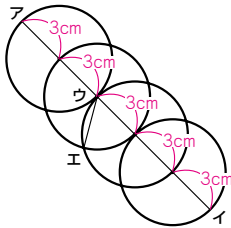
- 1 (1)円 (2)直径 (3)直径
 (4)2 (5)7
 2 (1)15cm (2)3cm

考え方

- 1 円のせいしつをかくにんします。
 (1) 1つの点から長さが同じになるようにかいたまるい形を円といいます。
 (2) 円の中心を通り、円のまわりから円のまわりまで引いた直線を直径といいます。
 (3) 円の中に引いた直線の中で、いちばん長い直線は直径です。
 (4) 半径の長さを2倍すると、直径の長さになります。
 (5) 直径14cmの円の半径は、7cmです。

- 2 円の半径に注目して考えます。
 (1) 1つの円の直径が6cmなので、半径は6cmの半分の3cmです。

下の図のようにアイの直線の長さは半径の5つ分なので、
 $3 \times 5 = 15$ (cm)



- (2) ウエの直線は、ウの点を中心にした円の半径なので、長さは3cmです。

20円と球(2)

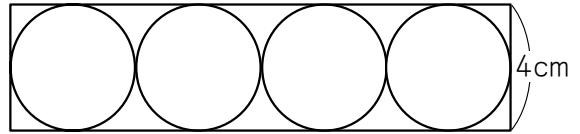
21ページ

答え

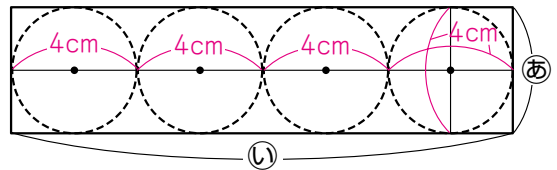
- 1 (1)4cm (2)2cm (3)㉞4cm、㉟16cm
 2 キ

考え方

- 1 箱を上から見ると下のようになります。

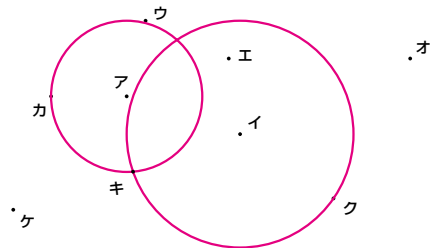


- (1) 上の図より、このボールの直径は4cmです。
 (2) 半径は直径の半分なので、このボールの半径は、2cmです。
 (3) この箱を前から見ると、下のようになっています。



だから、㉞の長さは4cm、㉟の長さは $4 \times 4 = 16$ (cm) です。

- 2 コンパスを2cmに開き、アの点を中心円をかきます。かいた円の線の上にある点が、アの点から2cmのところにある点です。
 同じように、コンパスを3cmに開き、イの点を中心円をかきます。



アの点から2cmのところであり、さらに、イの点から3cmのところにある点は、キです。

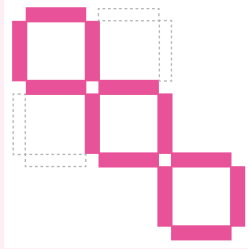
21 正方形を作ろう

22ページ

答え

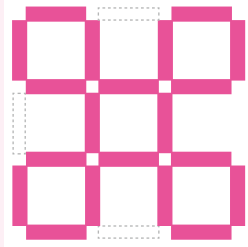
1 (1)[れい]

※動かしたぼうが4本で、正方形が3こできていて、正方形の^へ辺にならないぼうがなければ正かいです。



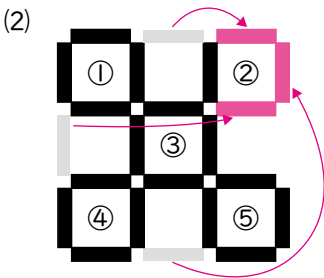
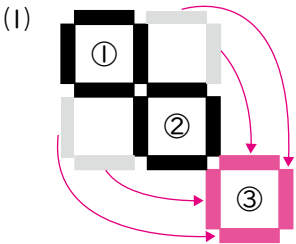
(2)[れい]

※動かしたぼうが3本で、正方形が5こできていて、正方形の^へ辺にならないぼうがなければ正かいです。

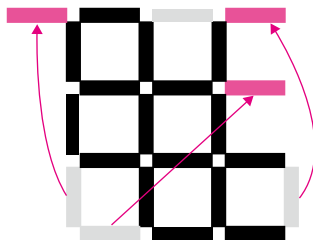


考え方

1 下のよう動かします。



右の図のように、正方形の^へ辺にならないぼうや使わないぼうがあってはいけません。



22 大きい数(1)

23ページ

答え

- 1 (1)三万二千八百九十七
(2)五百万二千四十二
- 2 (1)47563 (2)60000380
(3)31708000
- 3 (1)八百七十万 (2)870こ
(3)8700こ (4)10000こ

考え方

1 一の位から4つ目と5つ目の間で区切ると、わかりやすくなります。0のある位は読まないことに気をつけましょう。

(1) 3 | 2897
万 |

「三万二千八百九十七」と読みます。

(2) 500 | 2042
万 |

「五百万二千四十二」

2 万のところで区切って考えます。

(1) 四万 | 七千五百六十三
4 | 7563
万 |

(3) 1000万を3こ…3000万
100万を1こ… 100万
10万を7こ… 70万
1000を8こ… 8000

合わせると、3170万8000になります。数字で書くと、31708000です。

3 8700000を万のところで区切ります。

(1) 870 | 0000
万 |

「八百七十万」と読みます。

(2)、(3) 8700000は、10000を870こ集めた数で、1000を8700こ集めた数です。

(4) 87を100000こ集めると8700000です。

23 大きい数 (2)

② 24ページ

答え

- 1 ㉗ 140000 ㉘ 390000
 2 (1) 9999 (2) 10000000
 3 (1) > (2) 560
 4 (1) 61万 (2) 7000

考え方

1 数直線の問題では、1目りの大きさをはじめに考えます。この数直線は、100000を10こに等分しているの、1目りの大きさは、10000です。

㉗は、100000から4つ目の目りだから、140000を表しています。

㉘は、300000から9つ目の目りだから、390000を表しています。

2 小さい数と同じように考えることができます。

(1) 99の次の数が100、999の次の数が1000であるのと同じように考えて、9999の次の数は、10000です。

(2) 997よりも3大きい数が1000、9997よりも3大きい数が10000であるのと同じように考えて、9999997よりも3大きい数は、10000000です。

3 (1) まずは、けた数が同じかどうかを調べましょう。同じけた数なので、上の位からじゅんにくらべます。

(2) 数を100倍して10でわった数は、もとの数を10倍した数と同じです。

4 1万や1000をひとまとまりとして考えます。

(1) 1万が(39+22)こだから、
 $39万 + 22万 = 61万$

(2) 1000が(13-6)こだから、
 $13000 - 6000 = 7000$

24 表とグラフ (1)

② 25ページ

答え

1 (1)

しゅるい	数 (ひき)
カワハギ	6
マダイ	17
ヒラメ	9
スズキ	11
その他	7
合計	50

- (2) イサキ、クロダイ、メバル
 (3) 50ぴき (4) マダイ

考え方

1 数を調べるときは、「正」の字を書いていくとべんりです。

(1) 「正」の字1つが、数字の5を表します。問題の表1にあって、表2に書かれていない魚が「その他」としてまとめられています。

「その他」の魚の数は、
 $2 + 3 + 2 = 7$ (ひき)

「合計」は
 $6 + 17 + 9 + 11 + 7 = 50$ (ぴき)

(2) 「その他」の魚は、イサキ、クロダイ、メバルです。

(3) 大きな水そうにいる魚の数は、(1)の表の「合計」を見ればわかります。

(4) いちばん多い魚は、17ひきのマダイです。

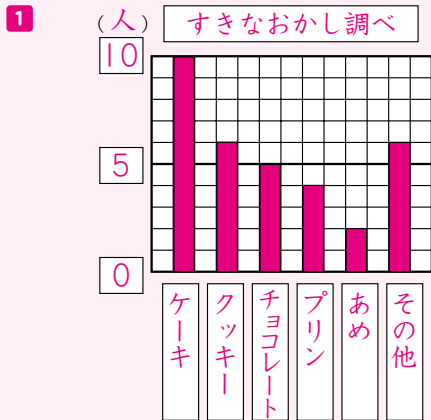
魚の数を多いじゅんにならべると下の表のようになります。

しゅるい	数 (ひき)	} その他
マダイ	17	
スズキ	11	
ヒラメ	9	
カワハギ	6	
クロダイ	3	
イサキ	2	
メバル	2	

25 表とグラフ(2)

答え

26ページ



- 2 (1) ㉠18 ㉡56 ㉢13 ㉣4 ㉤5
㉥6 ㉦14 ㉧7 ㉨78 ㉩221
(2) 6年生 (3) サッカー

考え方

- 1 横のじく^{よこ}に、数の多いじゅんにおかしの名前をならべ、「その他」は最後^{さいご}にします。いちばん多い数は10で、グラフのたてのじくには10目もりがあるので、1目もりは1人にします。
- 2 表を横に見ていくと、
 野球…㉠は、 $54 - 15 - 21 = 18$
 サッカー…㉡は、 $19 + 20 + 17 = 56$
 音楽…㉢は、 $34 - 9 - 12 = 13$
 美術…㉣は、 $21 - 6 - 11 = 4$
 陸上…㉤は、 $22 - 8 - 9 = 5$
 テニス…㉥は、 $20 - 5 - 8 = 7$
 次に、たてに見ていくと、
 5年生…㉦は、
 $74 - 18 - 20 - 9 - 4 - 9 - 8 = 6$
 6年生…㉧は、
 $21 + 17 + 12 + 11 + 5 + 5 + 7 = 78$
 茶道をしている人の合計…㉨は、 $3 + 6 + 5 = 14$
 全部の合計…㉩は、 $69 + 74 + 78 = 221$
 【べつ^{べつ}のとき方】全部の合計…㉩は、
 $54 + 56 + 34 + 21 + 22 + 14 + 20 = 221$

26 長さ(1)

答え

27ページ

- 1 (1)mm (2)m (3)cm (4)km
 2 (1)3 (2)504 (3)7000 (4)7、260
 3 (1)1350 (m)、1 (km) 350 (m)
 (2) [式] $600 + 800 = 1400$
 $1400\text{m} = 1\text{km}400\text{m}$
 [答え] 1km400m

考え方

- 1 1km、1m、1cm、1mmがそれぞれどれくらいの長さかを考えます。
 (1) 6cmではあつすぎるので、6mmです。
 (2) 20kmでは長すぎて、20cmでは短^{みじか}すぎるので、20mです。
 (3) 15mでは長すぎて、15mmでは短すぎるので、15cmです。
 (4) 2mでは短すぎるので、2kmです。
- 2 1cm=10mm、1m=100cm、1km=1000mです。
 (1) 10mm=1cmだから、30mm=3cmです。
 (2) 1m=100cmだから、5m=500cmです。だから、5m4cm=504cmです。
 (3) 1km=1000mだから、7km=7000m
 (4) 7260mを7000mと260mに分けて考えます。1000m=1kmだから、
 $7260\text{m} = 7\text{km}260\text{m}$
- 3 2つの場所の間をまっすぐにはかった長さをきよりといい、道にそってのはかった長さを道のりといいます。
 (1) 駅から学校までのきよりは、1350mです。1000m=1kmだから、
 $1350\text{m} = 1\text{km}350\text{m}$
 (2) 駅から学校までの道のりは、
 $600 + 800 = 1400$ (m)
 $1400\text{m} = 1\text{km}400\text{m}$



きよりと道のりのちがいをしっかりかくにんしておこう。

27 長さ (2)

② 28ページ

答え

1 (1)㉞3m53cm ㉟4m27cm

(2)㉡9m91cm ㉢10m54cm

2 【式】 $1110 - 830 = 280$

$$580 - 280 = 300$$

【答え】 300m

考え方

1 10cmを10こに分けているので、1目もりは1cmを表しています。

(1)㉞4mより^{みじか}短く、53のところをさしているの、3m53cmです。

㉟4m20cmより7cm長いので、4m27cmです。

(2)㉡10mより短く、91cmのところをさしているの、9m91cmです。

㉢10m50cmより、4cm長いので、10m54cmです。

2 ゆりさんの家から公園までのきよりが1110mで、花屋さんから公園までのきよりが830mだから、ゆりさんの家から花屋さんまでのきよりは、

$$1110 - 830 = 280 \text{ (m)}$$

ゆりさんの家から交番までのきよりが580mだから、花屋さんから交番までのきよりは、

$$580 - 280 = 300 \text{ (m)}$$

【べつのととき方】

交番から公園までのきよりは、

$$1110 - 580 = 530 \text{ (m)}$$

花屋さんから交番までのきよりは、

$$830 - 530 = 300 \text{ (m)}$$

28 テマパークの計画をたてよう

② 29ページ

答え

1 ジェットコースター、バイキング、メリーゴーラウンド

考え方

1 3しゅるいのアトラクションのうちの1つはジェットコースターなので、のこりの2つのアトラクションのえらび方を考えます。ジェットコースターは800円で、合計は1800円までなので、 $1800 - 800 = 1000$ より、のこりの2つのアトラクションのりょう金の合計は1000円までです。のこりの2つのえらび方とりょう金を調べると、次のようになります。

㉞かんらん車、おばけやしき → 1200円 ×

㉟かんらん車、バイキング → 1300円 ×

㊱かんらん車、メリーゴーラウンド → 1100円 ×

㊲かんらん車、ゴーカート → 1300円 ×

㊳おばけやしき、バイキング → 1100円 ×

㊴おばけやしき、メリーゴーラウンド → 900円 ○

㊵おばけやしき、ゴーカート → 1100円 ×

㊶バイキング、メリーゴーラウンド → 1000円 ○

㊷バイキング、ゴーカート → 1200円 ×

㊸メリーゴーラウンド、ゴーカート → 1000円 ○

㊷～㊸のうち、りょう金が1000円までになるものは、㊴、㊶、㊸です。待ち時間の合計は100分までです。ジェットコースターは50分なので、 $100 - 50 = 50$ より、のこりの2つのアトラクションの待ち時間の合計は50分までです。㊴、㊶、㊸の待ち時間を調べると、㊴は60分、㊶は50分、㊸は60分なので、50分までになるものは㊶です。「決まり」に合うえらび方は、「ジェットコースター、バイキング、メリーゴーラウンド」です。

1 生き物さがし

30ページ

答え

1 ア

2 (1) (れい) 生き物を見つけた日

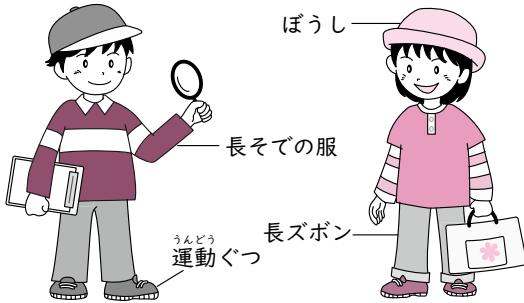
※天気、感想、方法、道具、調べたこと、かんさつしたきっかけなどでも、正かいです。

- (2) ①ウ ②イ ③キ
④カ ⑤オ

考え方

1 自ぜんかんさつをするときには、植物にさわってかぶれたり、虫にさされたりかまれたりしないように、長そでの服と長ズボンを着るようにしましょう。

また、ぼうしをかぶることで、直せつ頭に日が当たらないようにします。



2 かんさつカードには、後から見てわかりやすいように、次のことなどをまとめます。

- 「生き物の名前」
- 「生き物を見つけた日」
- 「天気」
- 「生き物を見つけた場所」
- 「生き物のスケッチや写真」
- 「生き物のとくちょうなど気づいたこと」
- 「図かんなどで調べたこと」

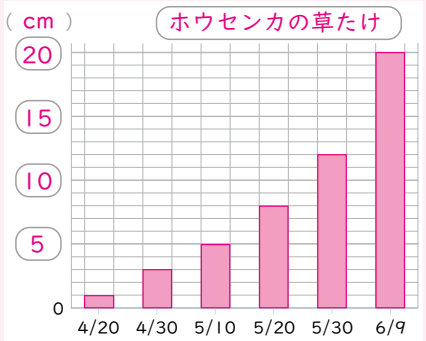
スケッチをするときには、色や形がわかるようにていねいにかきましょう。

2 植物を育てよう

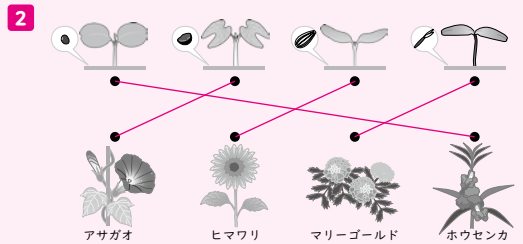
31ページ

答え

1 (1) (cm)



(2) オ



考え方

1 (1) グラフのたてじくは、20目もりあるので、1cmを1目もりとします。グラフのタイトルを入れわすれないようにしましょう。

(2) 問題の表を見ると、ホウセンカの草たけを10日ごとに調べていることがわかります。10日ごとに、何cmずつのびているかをかくにんしましょう。

4月20日から4月30日 → $3 - 1 = 2$ [cm]

4月30日から5月10日 → $5 - 3 = 2$ [cm]

5月10日から5月20日 → $8 - 5 = 3$ [cm]

5月20日から5月30日 → $12 - 8 = 4$ [cm]

5月30日から6月9日

→ $20 - 12 = 8$ [cm]

一番大きくのびたのは、オの5月30日から6月9日であることがわかります。

2 植物によって、たねや子葉、葉や花のとくちょうはちがいます。問題の絵をよく見てえらびましょう。

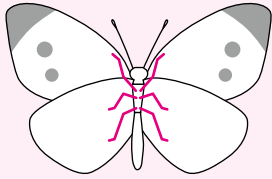
3 チョウを育てよう

そだ

32ページ

答え

- 1 (1) ①よう虫 ②さなぎ
 (2) ア× イ× ウ× エ○
 (3) ①しょっかく

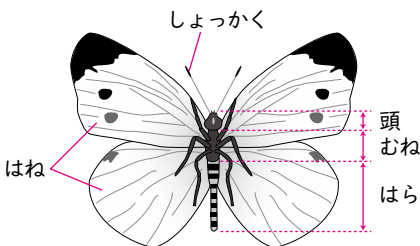


※むねから左右3本ずつ、6本のあしが出ていれば正かいです。

- (4) こん虫

考え方

- 1 (1) チョウは、たまご→よう虫→さなぎ→せい虫のじゅんに育っていきます。
 (2) ア チョウのたまごは1mmぐらいの大きさです。
 イ うみつけられたばかりのたまごはうすい黄色で、だんだんこい黄色になります。
 ウ よう虫は、皮をぬぐたびに大きくなります。
 エ さなぎになると動かず何も食べません。
 (3)・(4) チョウのせい虫は、頭・むね・はらからできていて、むねに左右3本ずつ合計6本のあしがついています。このようなとくちょうがある生き物をこん虫といいます。頭には、目やしょっかく、口があります。



4 太陽とかけ/風とゴムのはたらき

たいよう

33ページ

答え

- 1 (1) ㊦東 ㊩北 ㊨西
 (2) ① (3) ア
 2 (1) ③ (2) 右
 3 イ

考え方

- 1 (1) かげは太陽があるほうと反対がわにできます。太陽は東→南→西に動き、かげは太陽の動きに合わせて西→北→東に動きます。正午の太陽は南の空にあるため、かげができていいる④は北であることがわかります。ぼうの反対がわが太陽がある南なので、㊦は東、㊨は西になります。
 (2) 正午をすぎると、太陽は南から西に動くため、かげは①の北から東に動きます。
 (3) かげの長さは午前から正午にかけてだんだん短くなり、正午ごろが一番短くなります。正午から午後にかけてはだんだん長くなっていきます。
 2 (1) 問題の図1は、風の強さと車の動きよりについて調べた実けんのけっかを表しています。①・②・③のどれも、0mから→が引かれているので、車をスタートさせた地点が0mであることがわかります。→の長さが長いほど、遠くに動いていることから、風が一番強かったのは③であると考えられます。
 (2) 図1で左から右に車が動いているため、この実けんをしたときに、送風きは左がわにおかれていたことがわかります。問題では、反対の方向に車を動かしたいとあるため、送風きは実けんのとときと反対の右がわにおきます。
 3 このおもちゃは、のびたわゴムが元にもどろうとする力をり用して、わゴムをとばすおもちゃです。

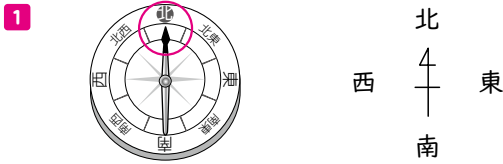
1 方位と地図記号

34ページ

答え

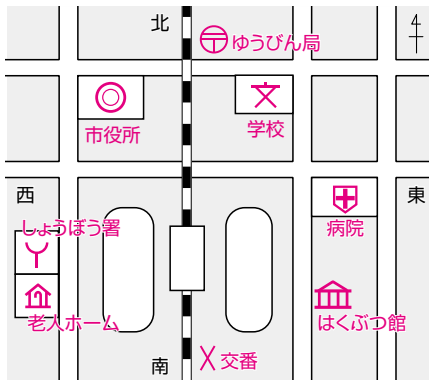
- 1 ア
 2 (1) 市役所
 (2) ①ゆうびん局 ②学校 ③病院
 ④はくぶつ館 ⑤交番
 ⑥老人ホーム ⑦しょうぼう署

考え方



方位じしんは色のついたはりが指す方角が北になります。方位の記号は、三角の先が向く方角が北になります。問題では方位じしんの色のついたはりが上を向いているので、方位の記号も上を向いているものをえらびます。

- 2 (1) 駅の北西には、◎の印があります。◎は市役所を表しています。
 (2) 地図ではたてものや土地の使われ方を地図記号で表します。



- ①の⊕はゆうびん局を、②の文は小・中学校を、③の⊕は病院を、④の🏠ははくぶつ館を、⑤のXは交番を、⑥の🏠は老人ホームを、⑦の🚒はしょうぼう署をしめします。

💡 畑は∨、田んぼは∥で表すこともおぼえておこう。

2 市のようす

35ページ

答え

- 1 イ 2 ア

考え方

1 絵地図では右上に山があり、駅の東にはデパートがあります。また、駅の西には住宅が、海岸沿いには工場があります。線路と山の間には、畑や田んぼの絵もあります。

山のことを山地、デパートや店が集まっている地いきを商業地、住宅が多いところを住宅地、工場が集まっているところを工業地、畑や田んぼは、農業地といいます。

土地の使われ方を表した地図では、山地は茶色、商業地は赤色などとぬり分けられているので、右がわが茶色、駅のまわりが赤色の地図をさがします。農業地の緑や、住宅地のななめの線にも気をつけて一つ一つの地図をかくにんしましょう。

アは、駅のまわりに商業地がありますが、その南となりには山地があります。絵地図では、この場所は畑や田んぼなので、アはまちがいです。ウは、駅の右がわにある商業地が、左がわにかかれていたり、川の反対がわにも広がっているため、まちがいです。

2 大きな駅前には電車で町の外に出る人、帰ってくる人、町をおとずれる人、さまざまな人が行きかいます。店は多くの人に来てほしいので、駅前のような人通りの多い場所にたてられます。

しかし、駅前にはじゅうたいも起きやすく、車がべんりとはいえません。

電車で荷物を運ぶのは、かつてさかんに行われていました。しかし、今では荷物を遠くまで運ぶのも、車を使うようになりました。

💡 大きな駅前には、デパートのような大がたの店のほかに小さな商店も集まっていることが多いよ。

3 農家の仕事

36ページ

答え

- 1 (1) ①なえ ②ひりょう ③しゅうかく
④中央おろし売り市場
⑤スーパーマーケット
- 2 トマト

考え方

1 野菜のなえを植える→水をやり、ひりょうをあたえる→成長した野菜をしゅうかくする→箱につめる→中央おろし売り市場に集められる→小売店やスーパーマーケットではんばいする、この流れを通して、農家の野菜はわたしたちにとどきます。

中央おろし売り市場を通さず、直売所で売られる野菜もあります。

2 野菜はそれぞれ育てやすい時期がちがいます。野菜を一番育てやすい時期をその野菜の旬といいます。旬の時期の野菜はたくさんしゅうかくされ、市場に出回ります。

野菜カレンダーでは矢印がある時期がその野菜がとれる時期になります。6月に矢印があるのはトマトだけです。

品目/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ねぎ												
きゅうり												
なす												
トマト												

農家の人は、長い間、野菜をしゅうかくできるようにするため、同じ野菜のなえを、時期をずらして植える工夫をしています。

下は、あるキャベツ農家の仕事の時期を示しています。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
秋作	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
春作												

●たねまき ▲土づくり ●なえを畑にうつす — 畑のせわ ★取り入れ

地いきによって、たねまきや取り入れの時期はちがいます。

4 工場の仕事

37ページ

答え

- 1 (1) ①原料 ②きかい
③せい品 ④出荷
- (2) ア
- (3) (れい) 安全な食品をつくらないといけなから。

考え方

1 (1) さばのかんづめの原料は、海でとれた魚のさばです。

原料を工場に運ぶ→きかいでかんにつめる→せい品ができあがる→トラックで出荷する→店にとどく、となります。

工場では仕入れた原料を加工して、せい品をつくります。工場内はきかいで自動化されています。

さばのかんづめは、原料となるさばが海でとれるので、港の近くに工場があります。

(2) せい品にごみやほこりが入らないように、工場の中はともせいつにしています。工場ではたらく人はかみの毛がせい品の中に落ちないように、ぼうしをかぶります。

また、よごれにすぐに気づけるように、多くの場合、よごれが目立つ白い服を着ています。そして、工場内に外のよごれを持ちこまないように、クリーンルームというとくべつな場所で体についたよごれを落としてから、作業をする部屋に入ります。

(3) 食品をつくる工場のせい品は人が食べるものなので、えいせいに気をつけています。とくに、ばいきんは目に見えないので、工場の中に入るときは、手や指の消どくをてっています。「食品」「安全」の言葉を用いて、食品はとくに安全が大事だということをかんとんにまとめましよう。

1 アルファベット①

③ 38ページ

答え
しょうりやく
省略

2 アルファベット②

③ 39ページ

答え
しょうりやく
省略

3 数

③ 40ページ

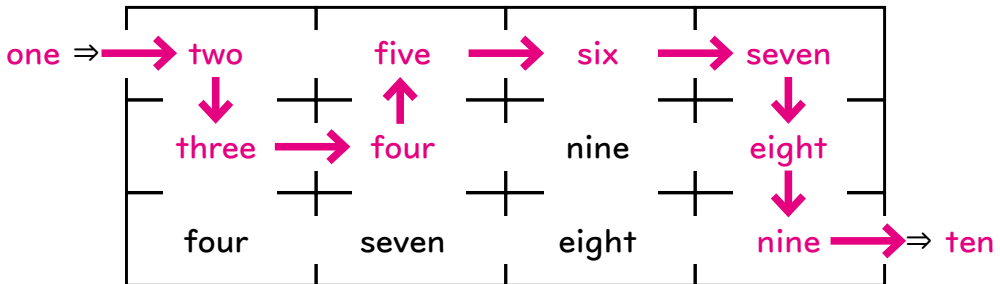
答え
しょうりやく
省略

1 省略

2 ① four ② eight ③ six

*① four apples, ② eight candies, ③ six pencils も正かいです。

3



4 曜日／はじめまして

③ 41ページ

答え
しょうりやく
省略

1 省略

2 日 月 火 水 木 金 (土)

(読まれた音声) It's Saturday today. (今日は土曜日です。)

3 (1) 省略

(2) (れい) Hi, I'm Naoko Yamada.

*自分の名前が書ければ正かいです。名前と名字のはじめは大文字で書きます。

3年生夏休み しあげテスト

算数

第21ページ

1 次の計算をしましょう。(1→5点)

(1) $0 \times 8 = 0$ (2) $4000 \times 9 = 36000$

(3)
$$\begin{array}{r} 485 \\ + 236 \\ \hline 721 \end{array}$$
 (4)
$$\begin{array}{r} 5000 \\ - 372 \\ \hline 4628 \end{array}$$

(5) $45 + 5 = 9$ (6) $56 + 8 = 7$

2 みさきさんの家からおじさんの家まで、45分かかります。ある日、みさきさんがおじさんの家についたのは、午前11時20分でした。次の問題に答えましょう。(1→10点)

(1) みさきさんは、午前何時何分に家を出ましたか。

(午前10時35分)

(2) おじさんの家を出たのは、午後2時10分でした。みさきさんがおじさんの家にいたのは、何時間何分ですか。

(2時間50分)

3 右の表は、ある日の午前9時から午前10時まで、学校の前を通った車の色ごとの数を調べてまとめたものです。次の問題に答えましょう。

(1) 黒の車は何台通りましたか。(10点)

(10台)

(2) 上の表をもとにして、学校の前を通った車の色ごとの数をばうグラフに表しましょう。(20点)

学校の前を通った車の色ごとの数

色	数(台)
白	18
はい色	12
黒	4
青	6
その他	6
合計	50

ばうグラフのデータ:

色	数(台)
白	18
はい色	12
黒	4
青	6
その他	6

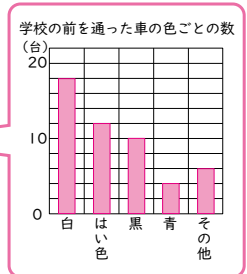
4 次の問題に答えましょう。(25点→8×5点)

(1) 3年生72人を、同じ人数の9つのグループに分けてゲームをします。1つのグループの人数は何人ですか。

(8)

(2) あみさんの学校は、男子の人数は318人で、女子の人数は男子より24人少ないそうです。あみさんの学校の男子と女子の人数を合わせて何人ですか。

(612)



考え方

1 (2) 4000×9 は、1000のかたまりが(4×9)こです。だから、1000が36こで36000です。

(4) 千のくらいから百のくらいに1くり下げ、百のくらいから十のくらいに1くり下げ、十のくらいから一のくらいに1くり下げます。

$$\begin{array}{r} 485 \\ + 236 \\ \hline 721 \end{array}$$

2 (1) 図をかくと考えやすくなります。

10時 11時 12時

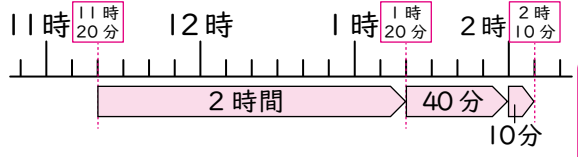
10時35分 11時20分

25分 20分

45分

午前11時20分の20分前が午前11時。
 $45 - 20 = 25$ だから、もとめる時こくは、午前11時から25分前の午前10時35分です。

(2) 午前11時20分から午後1時20分までが2時間。午後1時20分から午後2時までが40分。午後2時から午後2時10分までの10分を合わせて、2時間50分。



3 (1) 白、はい色、青、その他の色の車の合計は、 $18 + 12 + 4 + 6 = 40$ (台) だから、黒の車の数は、 $50 - 40 = 10$ (台)

4 (2) 女子の人数は、 $318 - 24 = 294$ (人) だから、男子と女子の人数の合計は、 $318 + 294 = 612$ (人)

テスト

3年生夏休み しあげテスト

理科

20分

第22ページ

1 まなみさんは、校園でタンポポをかんでつきました。次の問題に答えましょう。(5点)

(1) 地面にはえているタンポポを虫めがねでかんでつづることになりました。どのようにすればよいですか。次のア〜ウの中から1つえらび、記号を書きましょう。
ア 顔は動かさずに、虫めがねだけを前後に動かして見る。
イ かた目をつぶって、虫めがねをできるだけ遠くにして見る。
ウ 虫めがねを顔に近づけ、顔を前後に動かして見る。
(ウ)

(2) タンポポについてせつめた次の文章の①〜③にあてはまる言葉を下のア〜エの中からそれぞれ1つずつえらび、記号を書きましょう。(17点)

タンポポは、おもに(①)で生えていて、花の色は(②)色です。葉は細長く、葉のまわりの形が(③)しています。

ア 日かげ イ 日なた ウ 青 エ 黄
オ 赤 カ つるつる キ ぎざぎざ
① (イ) ② (エ) ③ (キ)

2 ホウセンカの育ち方について、次の問題に答えましょう。

(1) 右の図は、めがけた後のホウセンカです。①と②はそれぞれ何といますか。書きましょう。(17点)

① (子葉) ② (葉)

(2) ホウセンカのくきは、上に向かって高くなるのび、赤むらさき色のものや、うすい緑色のもの、白っぽい色のものなどがあります。

ア 地面をほうように横にのびる。
イ 上に向かって、高くなるのびる。
ウ くきは、うすい緑色だけでなく、赤むらさき色や白っぽい色になるものがある。
エ くきは、うすい緑色のものしかない。
(イ、ウ)

3 モンシロチョウについて、次の問題に答えましょう。

(1) たまごからかえったばかりのよう虫が、さいしょに食べるものは何ですか。次のア〜エの中から1つえらび、記号を書きましょう。(5点)
ア キャベツの葉 イ たまごのから
ウ まわりの土 エ ふん
(イ)

(2) モンシロチョウが、よう虫から右の図のようにかわりました。何も食べないこの期間のことを何といいますか。ひらがな3文字で書きましょう。(10点)

さなぎ

4 太陽とかげについて、次の問題に答えましょう。

(1) かげが一番短くなるのはいつですか。次のア〜エの中から1つえらび、記号を書きましょう。(5点)
ア 午前9時ごろ イ 昼12時ごろ
ウ 午後2時ごろ エ 午後4時ごろ
(イ)

(2) (1)のときにかげは、どの方向にできますか。次のア〜エの中から1つえらび、記号を書きましょう。(10点)
ア 東 イ 西 ウ 南 エ 北
(エ)

5 右の図のような、風で動くおもちゃをつくりました。次の問題に答えましょう。

(1) おもちゃを②の方向に動かしたいとき、①と②のどちらからうちわであおげばよいですか。(5点)
(イ)

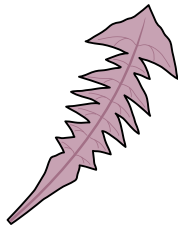
(2) うちわであおぐ風の力を強くすると、風で動くおもちゃの動きは、強くあおぐ前とくらべてどうかわりますか。かんたんに書きましょう。(10点)

より速く、より遠くまで動くようになる。

考え方

1 (1) 虫めがねを使って、動かさないものを見ると、虫めがねを目の近くに持ち、顔を前後に動かしてはっきり見えるいちをさがします。

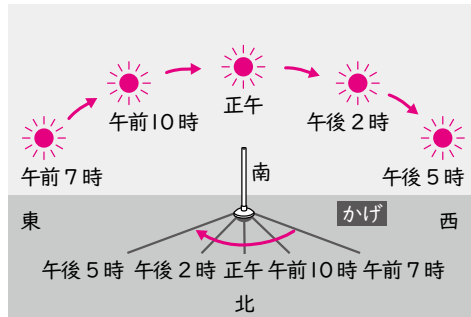
(2) タンポポの葉は右の図のような形をしています。



2 (2) ホウセンカのくきは、上に向かって高くなるのび、赤むらさき色のものや、うすい緑色のもの、白っぽい色のものなどがあります。

3 (1) たまごからかえったばかりのモンシロチョウのよう虫は、たまごのからを食べます。
(2) モンシロチョウは、たまご→よう虫→さなぎ→せい虫のじゅんにせい長します。

4 下の図のように、かげが一番短くなるのは昼12時(正午)ごろです。かげは太陽と反対がわにできるため、昼12時ごろのかげは北にできます。



5 (2) うちわであおぐ風の力を強くすると、強くあおぐ前にくらべ、より速く動くだけでなく、より遠くまで動きます。この2点について書いていれば、正かいです。1つのみ書けた場合は、8点としましょう。

3年生夏休み しあげテスト

社会 20分 第23ページ

方位と地図記号/図のようす

1 次の地図はゆいさんの住む町の地図です。あとの問題に答えましょう。(10点)

(1) この地図の方位の記号と同じ方角を指している方位じしんを、次のア～エの中から一つ選び、記号を書きましょう。(5点)

ア イ ウ エ

(ウ)

(2) ゆいさんの家は学校のとなりにあります。ゆいさんの家から見て、駅はどの方角にありますか。ハ方位で書きましょう。(5点)

(北東)

(3) ゆいさんは、となりの町に電車で行きました。ゆいさんの町にはいしせつつに行くための。そのしせつつを、次のア～カの中から一つ選び、記号を書きましょう。(10点)

ア 市役所 イ けいさつ署 ウ しょうぼう署
エ 図書館 オ はくぶ館 カ ゆうびん局

(オ)

(4) 次の文章を読んで、ゆいさんの家族が仕事をしていると思われる場所を、地図中の①～⑤の中からそれぞれ一つづつ選び、番号を書きましょう。(1つ10点)

わたしの家は昔から果園をしていますが、祖父は全ても畑に出て野菜をつくっています。父はゆうびん局ではたいています。母は病院で仕事をしています。

父(④) 母(⑤) 祖父(②)

農家の仕事

2 下のイラストを見て、あとの問題に答えましょう。(10点)

(1) このしせつつの名前を書きましょう。(10点)

(ビニールハウス)

(2) なぜ①の中で、いちごや花を育てるのですか、正しい理由を、次のア～エの中から2つ選び、記号を書きましょう。(1つ5点)

ア 寒い時期にも収穫できるようにするため。
イ ひりょうのほいを外にもらさないから。
ウ 霧草や虫風をふせぐことができるから。
エ 太陽の光を当たりやすくするため。

(ア)(ウ)

野菜の生え方

3 冬(12～2月)にたくさん出回る野菜は何ですか。次の野菜カレンダーの中から、2つ書きましょう。(1つ5点)

野菜/果物	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
トマト												
ナス												
イチゴ												
みかん												
白菜												

(ねぎ)(はくさい)(順不同)

工場の仕事

4 さびのかんづめ工場の仕事についての問題に答えましょう。

(1) 次のア～カの文を読んで、さびのかんづめ工場の仕事と関係のあるものをすべて選び、記号を書きましょう。(10点)

ア 原料を船で運んでくる。
イ なえをうえ、水をやり、ひりょうをあたえる。
ウ せいしょうしたもつから、しゅうかくする。
エ 出荷後、中央おろし売り市場に集められる。
オ 原料を加工して、せい品にする。
カ 作業をする前に、よごれが目立つ色の作業着に着がえる。

(アオカ)

(2) 工場ではたらく人は作業をする部屋に、グリーンルームを通ります。グリーンルームは何をするところか、かんたんに書きましょう。(10点)

(れい)体についたよごれを落とすところ。

考え方

- 1 (1) 地図の方位の記号は上を指しています。同じようにはりが上を指している方位じしんをえらびます。
- (2) 「ゆいさんの家は学校のとなり」です。学校の地図記号文から見たとき、駅は北東の方角になります。
- (4) 父→ゆうびん局 母→病院 祖父→畑です。それぞれのしせつつや土地利用をしめす地図記号がある場所を答えましょう。
- 2 ビニールハウスは、だんぼうにより温度のかなりができます。そのため、寒い時期に、あたたかい季節の作物を育てることができません。また雨風をふせぐので、台風などのえいきょうを受けにくく、害虫が入りこんだり、作物を食べられたりするなどのひがいもへらせます。
- 3 冬(12～2月)の時期にしゅうかくされている野菜をカレンダーから読み取ります。

- 4 (1) 「なえをうえ、水をやり、ひりょうをあたえる」→「せいしょうしたもつからしゅうかくする」→「出荷後、中央おろし売り市場に集められる」は農家の仕事の流れです。工場では原料を仕入れ、加工後、せい品にします。また、食品工場ではたらく人は作業前によごれが目立つように、白色などの作業着に着がえます。
- (2) クリーンルームでは、体についた目に見えないごみやほこりなども落とします。
- 《答えのれいと○のつけ方》
- 10点 「体についたごみを落とすところ」
体についたごみやよごれを落とすということが書けていたら10点です。
- △5点 「ごみを落とすところ」
体についているものを落とすというせつめいが足りません。
- ×0点 「そうじをするところ」
何をそうじするのかがわかりません。

国語

3年生夏休み
しあげ
テスト



1 国語で読んでのついでにじゅんじゅん、1〜3の数字を
（ ）に書きましよう。

(1) きんか ()
ざんが ()
ぎんか ()

(2) りよう ()
りようきん ()
りようり ()

(3) ゴール ()
こおひ ()
こおひー ()

(4) きつね ()
きつつき ()
きつて ()

2 下の文章はどの言葉をよくわかって書いていますか。一つ
えらんで、記号を○でかきましよう。

(1) 「一日中」雨が はげしく ふついている。

(2) 白い 鳥が えだから とび立った。

(3) 「だらけだ」となりりの人が わらった。

(4) きょう、ぼくは 公園で 友だちと 遊んだ。

3 次の文章を読んで、あとの問題に答えましよう。

さつきまでは頭でわかっていて、
今は体のまんなかでそう思った。

(1) ①とは、どういうことですか。それがわかる一文を
そのまま書きましよう。

(2) ② 美波がこのような気分になったのは、美波の気
持ちがどのように変化したからですか。変化する前と変化
した後の気持ちを二つずつえらんで記号を書きましよう。

変化する前 (ア) (イ) (ウ)
変化した後 (エ) (オ) (カ)

ア…東京へ行くのが楽しみだ。
イ…知っている人がいない場所へ行くのが不安だ。
ウ…ひっこしがうれしい。
エ…友だちと会えなくなるのがさみしい。

(3) ③ 美波がたちあがったのはどうするためですか。
文章中の言葉を用いて書きましよう。

れい 洋生のところへ行って、
さよならを言うため。

考え方

- 1 (1) 清音↓濁音(「ッ」のつく音)のじゅんじゅんになっています。
(2) 拗音(小さい「よ」)がありますが、三文字目まで同じと考え
て四文字目でくらべます。
(3) ゴール(ごおる)、こおひー(こおひい)のように、のばす音
をひらがなに直して考えます。
(4) 促音(小さい「っ」)がありますが、二文字目まで同じと考え
て三文字目でくらべます。
- 2 (1) 「一日中」は「ふついている」期間(どれくらい)をくわしくし
ています。
(2) 「白い」は「鳥」の様子(どんな)をくわしくしています。
(3) 「げらげら」とは「わらった」様子(どのように)をくわしく
しています。
- 3 (1) 「公園で」は「遊んだ」場所(どこで)をくわしくしています。
(2) ①の前後に注目しましよう。美波が「ひっこすんだ」と
いうことを、体のまんなかで実感したことがわかります。
(3) ②の前に注目します。きらきらの東京を想像してふくらん
でいた美波の気持ちは、友だちに会えなくなることや、だれも知っ
ている人がいない場所へ行くことに気づいて、しぼんでしまいま
す。この気持ちの変化を読み取りましよう。
(4) ③の直前の美波とお母さんの会話や、美波が心の中で思っ
ていること「あえないまんまさよならなんていやだ。」から、美
波の行動の理由を読み取りましよう。
「洋生にさよならを言うため」と同じ内容であれば正かいです。
また、文の終わりを「ため」でまとめます。

テスト

20 説明文の読み取り④

44ページ

答え

- 1 ア 部品 イ スペースデブリ
ウ 回っている / 飛んでいる
- 2 そのため
- 3 ア

考え方

21 ローマ字

43ページ

- 3 (1) 「葉っぱ」は、つまる音「っ」の次の「ぱ(p)」の音をかさねます。ア「はぱ」、イ「はーぱ」と読みます。
(2) 「おねえさん」は、のばす音「え(e)」の上に「-」をつけます。イ「おねいさん」ウ「おねさん」と読みます。
(3) つまる音とのばす音に注意しましょう。アは「がこう」イは「がっこ」と読みます。
(4) 「ん(n)」の後に「r」をつけて、「や(ya)」との区切りを示します。ア「ぱみゃ」、ウ「ぱんにゃ(pa/n/nya)」と読み分けましょう。

22 漢字クロスワード

42ページ

答え

1

↓1	小	学	校		人
↓2	川		長	方	形
↓3		教	室		
↓4	花			画	家
↓5	火	曜	日		来

べつこの答え
家臣

考え方

- 1 たてのヒントとよこのヒントの答えで、同じ漢字が使われていても、読み方がかわる場合があります。たて①は「小川」、よこ△は「小学校」ですが、「小」を「お」と読んだり、「しよう」と読んだりします。ほかに、読み方がかわるのはたて③とよこ△の「形」、たて④とよこ△の「火」、たて⑤とよこ△の「家」です。
また、答えがわからないときは、わかりそうな問題から取り組みましょう。答えが一つわかると、その答えがほかの問題のヒントになりますよ。クロスワードをとくコツです。

17 俳句の読み取り

47ページ

答え

- 1 ①ゆさゆさと大枝ゆるる 桜かな
②スケートのひも結ぶ間も はやり
つつ
- 2 ①風・ゆれている
②スケートぐつ・すべりたい
③食べて・鳴る音
④せみの声・聞こえている

考え方

18 詩の読み取り

46ページ

答え

- 1 ウ
だれが || ぼく だれに || 夏休み
どんなことを || もう一度もどってこ
ないかな
- 2 迷い子のセミ
さびしそうな麦わら帽子
それから ぼくの耳に
くつついて離れない波の音
- 3
- 4 イ

考え方

19 説明文の読み取り

45ページ

答え

- 1 イ
気象衛星 || ウ GPS || イ
放送衛星や通信衛星 || ア
地球観測衛星 || エ
- 2
- 3 ウ

考え方

11 説明文の読み取り①

53ページ

答え

- 1 アⅡどくばり イⅡしびれて(しまい)
ウⅡ(口に運ばれ) 食べられて
- 2 なぜクマノミは、インギンチャクの
しよく手に入っても平気なのでしょう。
- 3 ウ

考え方



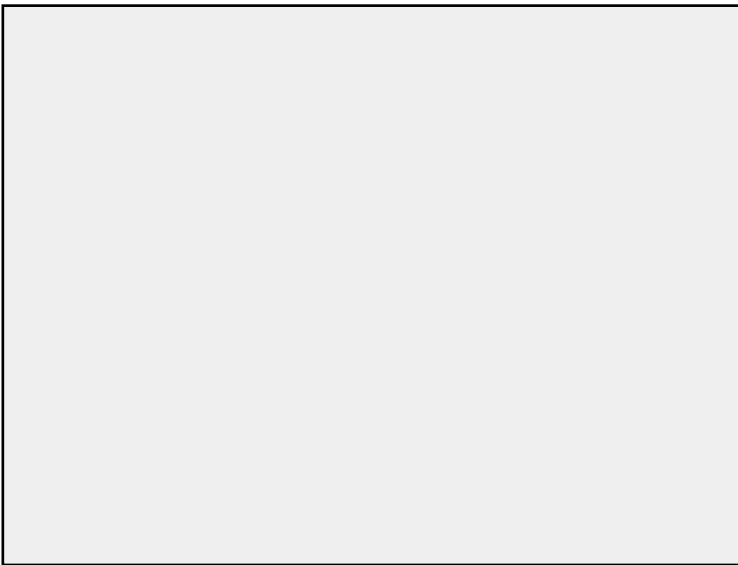
12 説明文の読み取り②

52ページ

答え

- 1 クマノミⅡ①おそわれる ②家
インギンチャクⅡ③追いはらって
④取りのぞいて
- 2 イ

考え方



13 文の組み立て①

51ページ

答え

- 1 (1)夏休みが 始まる
(2)兄が 行く
(3)花火が 打ちあがった
- 2 (1)あさがおの (2)公園に
- 3 (1)いつⅡきのう 何をⅡカレーライスを
(2)どんなⅡ白い どんなⅡ大きな
(3)何をⅡプレゼントを だれにⅡ父に

考え方

- 1 主語は「何が(は)」「だれが(は)」、じゅつ語は「どうした(どうする)」「どんなだ」「何だ」にあたる言葉です。
- 2 まず、主語とじゅつ語をさがすと、くわしくする言葉がわかりやすくなります。
- 3 聞こえるをくわしくするのは「音楽室から」です。「どこから」かがわかります。
- 3 (1)「いつ」「何を」食べたのがわかる言葉は、「きのう」「カレーライス」です。
(2)「どんな」ねこのかがわかる言葉は、「白い」「大きな」です。
(3)「何を」「だれに」わたしたのがわかる言葉は、「プレゼントを」「父に」です。

8 国語じてん②

56 ページ

答え

- 1 (1)イ (2)イ (3)ア (4)ア
 2 (1)暑い (2)きれいな (3)がんばる
 3 (1)イ (2)ウ
 4 ア

考え方

1 多くの国語じてんでは、見出し語が言い切りの形でのっています。ただし、「しずかだ」など、様子を表す言葉の一部は「しずか」の形でのっていることをおぼえておきましょう。国語じてんをたくさん引いて、見出し語の形になれていきましよう。

2 (2)「きれいな」は、「きれいだ」とまぢがえないように気をつけましよう。

3 国語じてんには、言葉の意味がいくつかのっていることがあります。自分が知りたいう意味にあてはまるものをさがしましよう。

4 「よく知っている。くわしい」をそれぞれ文にあてはめて、意味が通じるものをえらびましよう。

9 漢字の音と訓

55 ページ

答え

- 1 (1)音||ちよう 訓||あさ
 (2)音||しよう 訓||なま
 (3)音||せい 訓||ほし
 2 (1)イ (2)ア (3)ア (4)ア
 (2)おうさま・ようす
 (3)あいて・そうとう
 (4)じんぶつ・ものがたり
 (5)れんしゅう・ねる
 (6)とざん・のぼる
 3 (1)ちようり・しらべる

考え方

1 漢字には音と訓の読みがあります。音は、それだけでは意味がわかりにくく、訓は意味がわかりやすいものが多いことをおぼえておきましよう。

2 (1)ア「さかな」とイ「ぎよ」をくらべると、イ「ぎよ」は意味がわかりにくいのでイが音読みです。

(2)ア「か」とイ「うた」では、ア「か」は意味がわかりにくいので音読みです。ほかも同じように考えましよう。

10 言葉遊び

54 ページ

答え

- 1 (1)暗い (2)出発
 (3)暑かった (4)つめたい (5)買った
 (6)おもしろかった／楽しかった
 Q ウ
 2 出場↓場合↓合計↓計算↓算数
 ↓数日↓日記↓記入↓入学↓学校
 Q IO

考え方

1 それぞれ反対の意味の言葉を考えましよう。

(1)「明るい」の反対は「暗い」。(2)「う着」の反対は「出発」。(3)「気温がひくくて」寒い」の反対は「暑い」。(4)「水の温度が高くて」あつい」の反対は「つめたい」。(5)「売る」の反対は「買う」。(6)「つまらない」の反対は「おもしろい」「楽しい」などになります。

2 「出場」の「場」は「じよう」と読み、次の「場合」の「場」は「ば」と読みましよう。同じ漢字でもちがう読みがあることを考えましながら、漢字二字のしりとりをしましよう。

5 物語の読み取り①

59ページ

答え

- 1 ア⇨ヒゲ
イ⇨はえてこない
- 2 ウ
ア
- 3 ア

考え方

6 物語の読み取り②

58ページ

答え

- 1 ア⇨ペポネ
イ⇨あつまって
- 2 ウ
ア
- 3 れい ヒゲがなくてもヒヨウはヒヨウだとおもっているから。

考え方

7 国語じてん①

57ページ

答え

- 1 イ (1) イ (2) イ (3) ウ (4) イ
- 2
- 3 (1) ダイヤモンド (2) シュークリーム
大きい↓学校↓金魚↓ライオン
- 4
- | | |
|-------|-------|
| (3) | (1) |
| 1 3 2 | 3 1 2 |
| (4) | (2) |
| 1 2 3 | 2 3 1 |

考え方

- 1 (4) 「チーズ」は「ちいず」に直します。
- 2 (1) 小さい「つやゆよ」は、大きい「つやゆよ」の後にならびます。
- 3 (3) 清音↓濁音(ん)、「のつく音」↓半濁音(ん)。「のつく音」のじゅんになります。
- (2) 「しゅうかい」と「じゅうけんきゅう」の間に入る言葉は、四文字目でくらべて考えます。四文字目が「ク」の、「シュークリーム」(しゅうくりいむ)になります。なお、一文字目の「し」と「じ」は国語じてんを引く時は同じと考えます。

2 2年生の漢字②

62ページ

答え

- 1 (1)黄 (2)黒 (3)茶
 2 きせつ⇨春・夏・秋・冬
 方角⇨東・西・南・北
 (どの順番で答えても正かいです。)
 3 (1)国語 (2)音楽 (3)社会 (4)算数
 (5)理科 (6)体育 (7)図画工作
 (8)給食当番 (9)日直 (10)教室

考え方

- 1 (1)「黄」の真ん中は「田」ではありません。たてぼうは上につき出すように書きましょう。

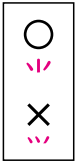
黄

「色」を表す言葉には、ほかに一年生で学習した「白・赤・青」があります。

- 2 きせつは「春夏秋冬」、方角は「東西南北」の読み方でおぼえておくといでしょう。

3 (1)「国」と(7)「図」は、同じ部分のある漢字です。形がにているので注意しましょう。

(8)「当」は点の打ち方をまちがえていないか、かくにんしましょう。



3 同じ部分のある漢字

61ページ

答え

- 1 (1)雪・電 (2)星・晴 (3)引・弟
 2 (1)イ (2)文 (3)言
 3 (1)場・地 (2)園・回 (3)海・池
 (4)絵・組

考え方

- 1 (1)「雨(あめ・あめかんむり)」のつく漢字には、ほかに「雲」などがあります。
 (2)「日(ひ・ひへん)」のつく漢字には、ほかに「早」「明」「春」「昼」「時」「曜」などがあります。
 (3)「弓(ゆみ・ゆみへん)」のつく漢字には、ほかに「弱」「強」などがあります。

- 2 (1)「イ(にんべん)」、(2)「夕(ぼくづくり)」、(3)「言(ごんべん)」です。

- 3 (1)「扌(つちへん)」、(2)「口(く)にがまへん」、(3)「シ(さんずい)」、(4)「糸(いとへん)」を同じ部分にもつ漢字です。

同じ部分のある漢字ごとに、まとめて整理するのもおすすめの勉強法です。これまでに学習した漢字の中からさがしてみよう。

4 漢字の送りがない

60ページ

答え

- 1 (1)くだる・おろす・さがる
 (2)いきる・うまれる・はえる
 (3)のぼる・あがる
 (4)はいる・いれる (5)でる・だす
 2 (1)おそわる・おしえる
 (2)あかり・あかるい
 (3)ほそい・こまかい
 (4)とおる・かよう
 (5)いく・おこなう
 (6)すくない・すこし

考え方

読み方が何通りもある漢字があります。送りがなに気をつけて読み分けられるようにしましょう。送りがなには漢字の読み方をはっきりさせるはたらきがあります。

- 1 (1)「下る」「下がる」、(3)「上る」「上がる」、(4)「入る」「入れる」はまちがえやすいのでとくに注意しましょう。

2 (2)「明かり」「明るい」、(3)「細い」「細かい」は、送りがなをまちがえやすいので、読み方といっしょにしっかりおぼえましょう。

3年生

答えと 考え方

問題をと き 終 わ っ た ら、す ぐ に ○ つ け を し ま し ょ う。
間 ち が え た 問 題 は、ふ く 習 し ま し ょ う。

国 語 …………… 32

算数・理科・社会・英語の答えは反対がわから始まります。

1 2 年生の漢字①

63 ページ

答え

- | | | | | |
|---|--------|--------|----------|--------|
| 1 | (1) 頭 | (2) 顔 | (3) かみの毛 | (4) 首 |
| 2 | (5) 母 | (6) 弟 | (7) 妹 | |
| 3 | (8) 父 | (9) 姉 | (10) 兄 | |
| 1 | (1) 走る | (2) 歩く | (3) 話す | (4) 歌う |
| 2 | (1) 多い | (2) 弱い | (3) 遠い | (4) 太い |
| 3 | (5) 売る | (6) 午後 | | |

考え方

1 (1)〜(4)「人の体」を表す言葉には、ほかに一年生で学習した「手・足・目・耳・口」があります。

(5)「母」は、形のにている「毎」とまちがえないように点の打ち方に注意しましょう。

毎母

2 送りがなもいっしょにおぼえましょう。ようになんて注意しましょう。つき出すと「牛」になつてしまひます。

午

なかまの言葉や反対の意味の言葉など、いろいろなグループを作って練習をすることができまふ。おすすめの勉強法です。